

IT パスポート試験合格講座 Strategy & Management 04

● 技術開発

1. [M]
技術を理解している者が企業経営について学び、技術革新をビジネスに結びつけようとする考え方。
2. イノベーション (Innovation)
イノベーションは[]や「新機軸」という意味。製品の品質を向上する革新的な製造工程を開発する「プロセス・イノベーション」と独創的かつ高い技術を基に革新的な新製品を開発する「プロダクト・イノベーション」に分けることができる。
3. [プ]
企業や産業界の技術戦略のために、研究開発のマイルストーンを示す指針であり、事業戦略に基づいた技術開発戦略などに利用される。
4. []
顧客に価値をもたらす、企業にとって競争優位の源泉となる、競合他社には模倣されにくいスキルや技術を指すもの。
5. コモディティ化
他社商品が追随してきたなどの原因により、機能の差別化が失われ、特徴のない製品やサービスとして扱われるようになり、最終的に低価格化競争に陥ってしまう状態。
6. [ベ]
業務改善のための課題を洗い出し、既にその課題に取り組んでいる最良の他社から学んで、自社に適用する活動。
7. OEM
相手先の商標やブランドで製品を製造し、供給すること。

8. ODM(Original Design Manufacturing)
製品の設計、試作、製造を一括して生産受託するサービスのこと。
9. SPA(Specialty store retailer of Private label Apparel)
製品の企画から製造、販売までの機能を垂直統合した製造小売業のこと。
10. [M]
製品を生産するために必要となる部品や資材の量を計算し、生産計画に反映させる資材管理手法のこと。
11. [S]
生産、販売、物流など個々のプロセスの不要な在庫の削減やリードタイムの短縮によって、プロセス全体の最適化を図る手法。調達から製造、物流、販売までの一連のプロセスを改善し、納期、コストの最適化を図ることができる。
12. []アウトソーシング
アウトソーシング形態のひとつで、外部委託を海外の業者へ行うこと。
13. [フ]
自社では工場を持たずに製品の企画を行い、他の企業に生産委託する企業形態。
14. [Q]
品質に関する活動を手順化・文書化・記録化することによって、品質の保証と顧客満足の向上を図ること。
15. QC サークル(Quality Control Circle)
現場で発生している問題を解決するために、関連する職場の人々がチームを作り、計画を立てて改善を進めていく活動。職場のメンバでグループを作り、職場内で発生する様々な問題を継続的に解決すること。
16. 方針管理
経営トップの目標を事業部、部、課などの目標に順次展開し、それを実施計画につなげて目標達成のために継続的な改善を進めていく TQC(Total Quality Control) / TQM の活動。

17. [シ _____ マ]
対象とする業務の品質を数値化し、そのばらつきを抑制することによって、業務品質を改善する手法。
- 経営管理システム
18. HRM (Human Resource Management)
人事労務管理。組織が従業員に対して行う、人事管理や労務管理などの活動。
19. [イン _____ ト]
膨大な決定を素早く的確に行うために総合的判断力を高めるための教育・訓練の方法。本来の意味は「決裁書類を入れる未決箱」である。
20. [ダ _____]
本来の意味は「多様性」であり、多様な価値観を組織運営に取り込むことによって、新たな価値の創造やパフォーマンスの向上につなげようとする経営手法。
21. [E _____]
生産・販売・調達・経理・人事といった全社の業務を統合的に管理し、企業全体の経営資源の最適化を図るために構築する情報システム。
22. [C _____]
顧客情報やコンタクト履歴などをデータベース化し、顧客からの質問や要望に迅速に対応できるようにして顧客との良好な関係を築くことによって、継続的に利益をもたらす優良な顧客の確保を目的とするもの。
23. [データ _____ グ]
データベースに蓄積されている大量のデータに対し、統計やパターン認識などの手法を用いることによって、認識されていなかった規則性や関係性を導き出す技術。
24. バスケット分析
コンビニエンスストアに来店する客が、一緒に購入する商品を分析するなど、ショッピングカートに同時に入っている商品を分析したデータを、販売などに活用しようとする手法。データマイニングのひとつ。

25. アクセスログ分析

Web サイトの閲覧回数、サイト内での移動履歴などを基に、閲覧者の行動を分析する手法。

26. [B]

生産、販売、物流などの業務全体の効率や生産性を改善するために、業務内容や手続を根本的に見直して再構築を行う。

27. イノベータ理論

商品購入の態度を新商品購入の早い順に五つに分類した、普及に関する理論。

- ✓ イノベータ (Innovators)
冒険的で率先して当該商品を購入する層。
- ✓ オピニオンリーダー / アーリーアダプタ
比較的早期に自らの価値判断で当該商品を購入し、後続する消費者層に影響を与える層。新商品の市場への浸透において重要であるといわれている。
- ✓ ブリッジピープル / アーリーマジョリティ (Early Majority)
比較的慎重であり、早期購入者に相談するなどしてから当該商品を追従的に購入する層。
- ✓ フォロワーズ / レイトマジョリティ (Late Majority)
多くの人が当該商品を利用していることを確認してから購入する層。
- ✓ ラガード (Laggards)
流行や世の中の動きに関心が薄い伝統主義者。最も保守的な層。

下記の練習問題で理解を深めましょう！



- ✓ 翔泳社「情報処理教科書 i パスクイズ 222 IT パスポート試験攻略の書」
- ✓ IT パスポート試験合格講座 <http://rakupass.com/itpassport/>



Copyright © RakuPass.Com - Kanya Ishikawa All Rights Reserved.